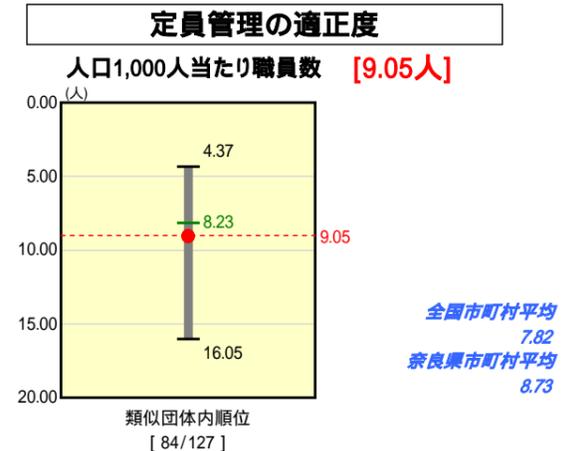
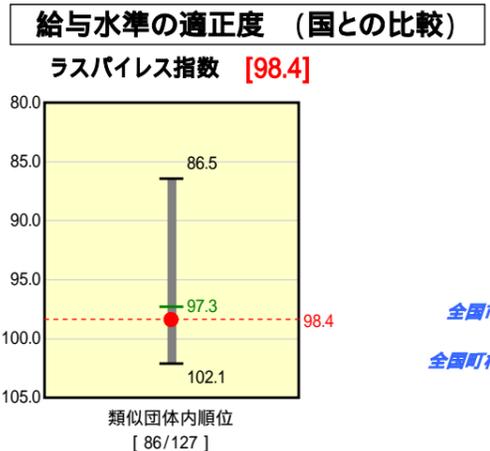
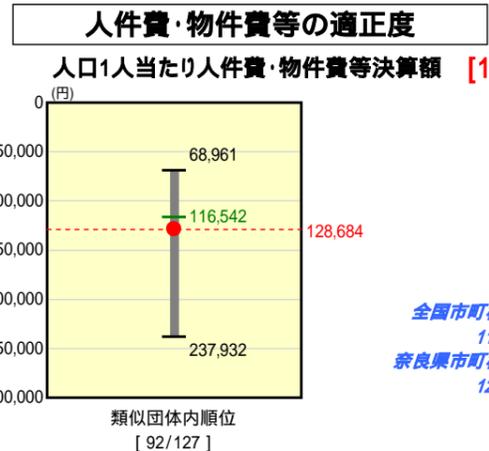
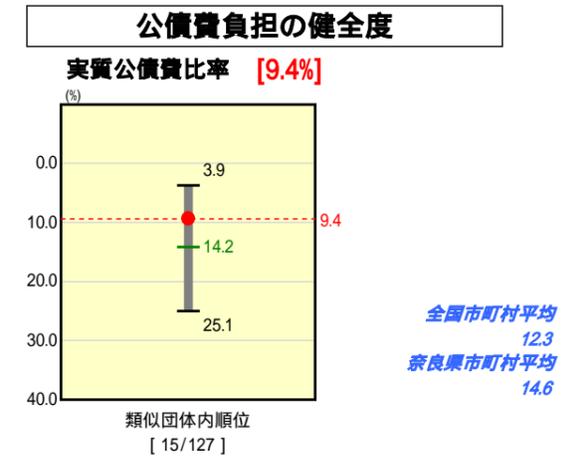
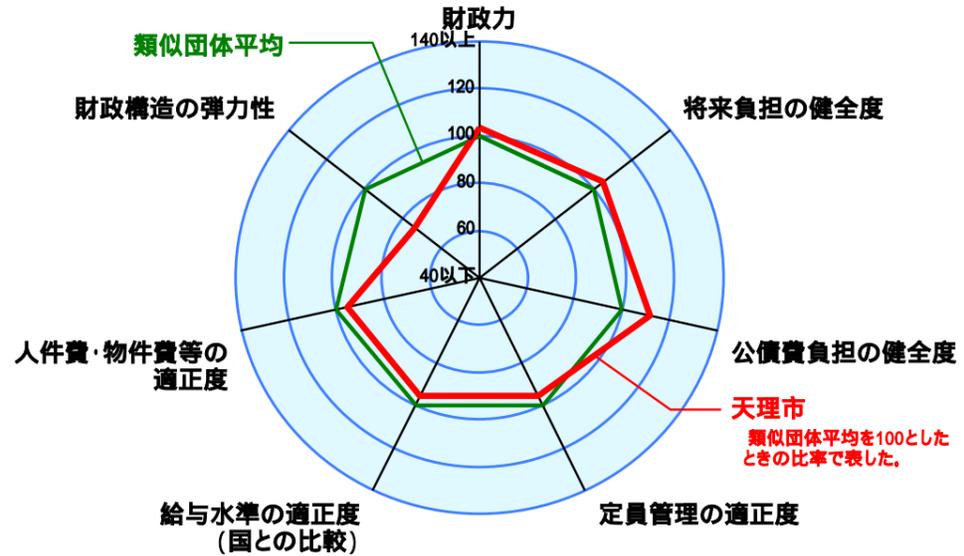
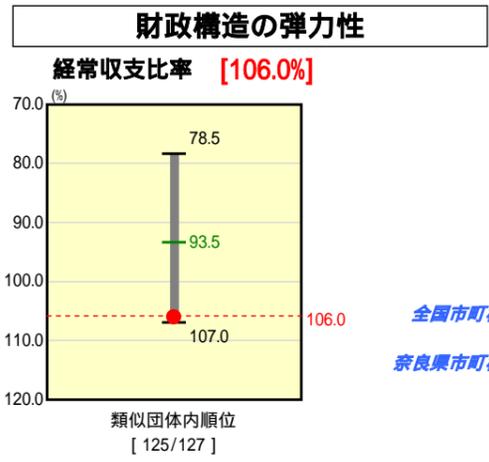
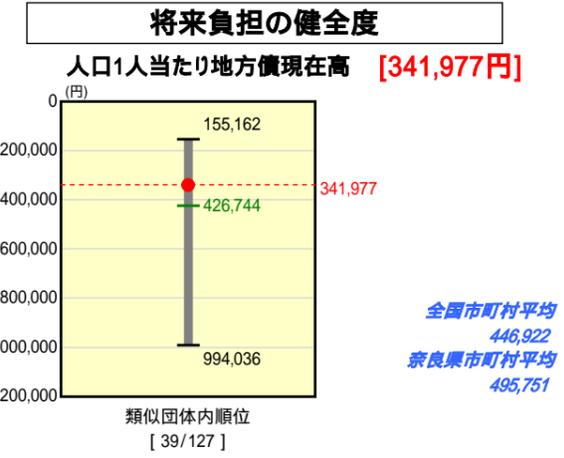
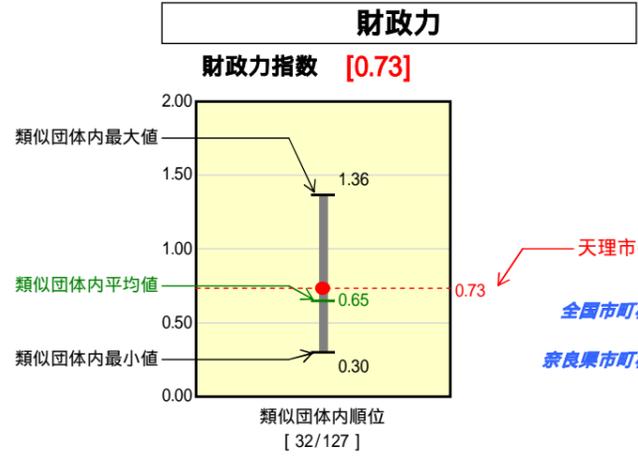


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 奈良県 天理市

人口	68,291	人(H20.3.31現在)
面積	86.37	km <sup>2</sup>
歳入総額	26,120,423	千円
歳出総額	24,959,933	千円
実質収支	817,607	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体而言。  
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数 [0.73]**  
現在のところ類似団体平均を上回る数値で推移しているが、世界的経済不況のありを受けて市内大型法人が工場の規模縮小などを行うことによる税収の減が予想されるため、税の徴収強化等による歳入の確保に努める。

**経常収支比率 [106.0%]**  
類似団体平均と比較して、歳入では経常一般財源等の額が少なく、歳出では施設関係の人件費や管理運営経費が多額となっていることから非常に高い水準で推移している。今後は、「集中改革プラン」に基づき、新規採用の抑制や各種手当の見直しにより定員管理・給与等の適正化を図るとともに、さらなる事務事業の見直し、事業の再編・整理の取り組みを強化する。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [128,684円]**  
類似団体平均と比較して、特に施設・教育関係の職員が多いことにより決算額が高くなっている。定員の適正化、組織の簡素化、指定管理者等民間委託の推進によりコストの低減を図っていく。

**人口1人当たり地方債現在高 [341,977円]**  
以前より全国平均・類似団体平均より低い金額を維持している。今後も事業の厳選により健全化に努める。

**実質公債費比率 [9.4%]**  
過去からの起債抑制策により全国平均・類似団体平均と比較して低い水準を維持している。今後も引き続き水準を抑制していく。

**人口1,000人当たり職員数 [9.05人]**  
教育・福祉施策の充実を図ってきたことにより職員数が増えているが、近年は、新規採用の抑制により減少傾向にある。今後も定員適正化計画のもと更に抑制を図っていく。

**ラスパイレス指数 [98.4]**  
集中改革プランの着実な実行により継続して給与の適正化に取り組むとともに、各種手当の見直しにより一層の適正化に努める。